



(株)峰岸商会	(本 社)甲府市増坪町74	055-241-3151
	(営業所)上野原市新田661	0554-62-3321

落ち葉の季節となってまいりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。いつも弊社を御利用頂き有り難うございます。朝晩めっきり冷え込むようになりましたが、くれぐれも体調管理にはお気をつけてください。今回は“公差”についてお知らせをさせていただきます。(上野原営業所 村松・大浜)

＜編集者＞

- 塚原 佳由
- 望月 博隆
- 村松 貴
- 赤木 健三
- 山田 幸平

鋼種 Q & A

～ 公差について ～

公差とは・・・基準値と許容される範囲の最大値および最小値との差を許容差、その最大値と最小値の差を公差と呼ぶ。

例) 7級 (h7) ⇒丸材研磨 (G材・センターレスともいいます) S45C・SK4・SKS21・SUS303・304等)

9級 (h9) ⇒丸材磨き (SS・S45C) 9.5級 (h9.5) ⇒丸材磨き (S45C)

※ S45Cに関しては、製造元によりh9とh9.5 公差に違いがあります。

※ 等級の数字が大きくなる程、公差巾が大きくなります。

径・辺 対辺距離 厚さ及び幅	許容差の等級							
	6級 (h6)	7級 (h7)	8級 (h8)	9級 (h9)	9.5級 (h9.5)	10級 (h10)	11級 (h11)	12級 (h12)
3以下	0 -0.006	0 -0.010	0 -0.014	0 -0.025	- -	0 -0.040	0 -0.060	0 -0.10
3を超え6以下	0 -0.008	0 -0.012	0 -0.018	0 -0.030	- -	0 -0.048	0 -0.075	0 -0.12
6を超え10以下	- -	0 -0.015	0 -0.022	0 -0.036	0 -0.050	0 -0.058	0 -0.090	0 -0.15
10を超え18以下	- -	0 -0.018	0 -0.027	0 -0.043	0 -0.060	0 -0.070	0 -0.11	0 -0.18
18を超え30以下	- -	0 -0.021	0 -0.033	0 -0.052	0 -0.070	0 -0.084	0 -0.13	0 -0.21
30を超え50以下	- -	0 -0.025	0 -0.039	0 -0.062	0 -0.080	0 -0.10	0 -0.16	0 -0.25
50を超え80以下	- -	0 -0.030	0 -0.046	0 -0.074	0 -0.100	0 -0.12	0 -0.19	0 -0.30
80を超え120以下	- -	0 -0.035	0 -0.054	0 -0.087	- -	0 -0.14	0 -0.22	0 -0.35

許容差の等級の摘要 (JIS3123)

形状及び加工方法	丸					角	六角	平
	研削		引抜		切削			
許容差の等級	6級	7級	8級	9級	11級	10級	11級	12級
	8級	9級	10級	13級	12級			

★社長のワンポイント★中国の観光客が日本に来て、「爆買い」という言葉が生まれるほど消費意欲というものが表れ、量販店の薬局・家電製品販売店・デパート・飲食・ブランド品等々あらゆるところに第二外国語の言葉が飛んでいる日々。しかし、現状隣の中国の経済は、私達山梨でも大きな影響を与えている。半導体市場は勿論のこと、車・家電製品・特に建築資材・建機などは、かなりのダメージを受けているようで、建機等は再来年まで上昇の計画が無いとのことで、生産計画もあまり良いとは言えない様子。中国本土の建築が止まり、新築物件は造らないということもありますが、今まで作りすぎたと言うことで、要するにバブルが生じていると言う事です。いかにドンドンで何事も世界に追いつけ、マンション並べて諸外国と同様に発展させ、高速道路も飛行場も展示会場も、作れ造れ・・・。経済成長の中で人件費の向上というものも大事ではありますが、何をもって諸外国が中国に進出し、製造していたのかという原点を、国内の方々は観ていなかったのでは無いでしょうか・・・。人件費高騰で、撤退の嵐はまだ吹いている状況。ある方から聞いた話ですが、負債の整理と補償問題で撤退したくても出来ず、パスポートを関係機関に没収され、身動きが出来ない状況であるとのこと。かなり中国の法律も熟知しているも、日々変わってしまう中国の法律。日本国内帰国ということも叫ばれています。国内帰国というよりもまだ人件費の安いアジア諸外国に流れているのが、現実ではないでしょうか。「爆買い」は一過性のものであり、過ぎた後かなりの傷手を被る者が・・・多々いるのではないのでしょうか。反動は恐ろしいですね。

★国中エリア動向 塚原★10月に入り稼働が落ち着き始めているように感じます。特に半導体関係の一次下請け企業が落ち込み始めている事もあり、二次、三次下請けでは8月や9月に比べ受注量が30%を切っている所も出て来ています。組立ラインが残業や休日出勤をしていると聞いているので、調整を兼ねているのではないかと話もあります。車関係では依然忙しく稼働しているようで、プレスなどは稼働率を上げているとの事です。切削機械メーカーなどは、今年前半に行われた補助金制度で販売した分が9月でほとんど納入完了になってしまったので、後半は厳しくなると聞きました。今の所良い情報が少ないですが、このまま沈み込んで行くような話も出て来ていませんし、来年の前半には動きが良くなるような事も聞いています。少しでも現状の情報を皆様にはタイムリーに発信して行けるよう頑張ります。

★郡内エリア動向 望月★郡内動向ですが、中国経済が減速して時が経つほど悪くなるように感じております。9月は非常に厳しい状況でしたが、10月に入っても現状は変わらずと言った感じです。お客様の所に訪問しても非常に多いコメントは「非常に悪いね。仲間もヒドイと言っているよ。」と聞きます。現状は確かに厳しいです。工作機械メーカーですが、F社では11月から製造開始の部品が出てきたそうです。組み立ては忙しいそうです。M社では現状変わらずといった感じです。半導体関係では、T社は減少傾向です。小さい部品は出ているようですが他の部品は少なくなっております。その他では県外半導体関係の受注を受けて仕事が出ている所もあります。自動車関係では、トラック系が好調ですが「そろそろ限りかな」と感じているようですが仕事量はあります。郡内におけるその他の大手製造会社は、状況は変わらずといった感じですが。神奈川、静岡、長野、千葉とさぐりを入れましたが、減速感はどこも同じです。ただ、山梨はさらに減速しているようです。厳しい状況ではありますが、情報を収集し皆様にお伝えできるよう動向を見てまいりたいと思っております。

★上野原エリア動向 山田★10月に入り稼働が全体的に落ち込んできているように感じております。半導体関係の下請様も部署や使用材料にもよりますが、全体的に少なくなっているようです。エコー関係のお客様では、今のところ急激な落ち込みは無いようです。また新型車の立ち上げの話も出ているそうです。安定して稼働している所は、大型車関係だと思っております。特にバス関係が忙しいとのことをお話を聞いております。大型車関係では、試作も出て来ていているとのことです。東京・埼玉・神奈川方面は急激な落ち込みは無いようですが安定しているとははいかないようです。全体的に良い情報が少ない中、今年もあと少しですがしっかりと情報を探り、県内近県の動きに注意していきたいと思っております。